



チェルシーカルテット

宮川 渉(Piano)

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業、同大学院ピアノ科修了。在学中から作曲、ジャズも手掛ける。卒業後は、ポピュラー・バイオリニスト日色純一のピアニスト、活動弁士澤登翠の専属楽団カロード・モトーンのパニスト等フリーのパニストとして活動。現在埼玉を中心にセッション、ライブ等で活躍中

山澤 亮(Bass)

新潟県出身。高校時代にサックスを始め20歳の時バークリー音楽院にてベースを学ぶ。スイングする事を一番の身上とし、現在はさいたま市のライブ・ハウスを中心に、ジャズグループやヴォーカリストのサポート、ジャムセッション等々で活躍中。

林 文夫(A.Sax)

75年ブルーコーツ・オーケストラに入団。五十嵐明要氏に師事。リードアルトを務めた後、83年に渡米。帰国後はフリーミュージシャンとして多くのバンドに参加。99年New Yorkにて1stリーダーアルバム(Chelsea Blues)をレコーディング。現在はコンボやビッグバンド、ジャズやクラシック等ジャンルを問わず、コンサート、レコーディング、ライブなどの演奏活動を行っている。2004年4月より2年間、月刊「Jazz Life」にてサックス講座「アドリブ・クッキン！」連載。山野楽器・ウインドクルーのジャズサックスクラス講師。

大森ひろ(Drums)

愛知県出身。10歳でドラムを始め、父親の影響でビッグバンドを始める。愛知工業大学名電高等学校の吹奏楽部でパーカッションを担当。20歳で本格的に音楽を学びたいと思い甲陽音楽学院入学。2006年奨学金を経てバークリー音楽大学に留学。在学中は自分のスタイルを追求し続け、卒業後NYに活動拠点をおく。ジャズドラマーAri Hoeningに師事。自己のバンドの他、多くのグループにてライブハウス等で演奏する。2010年2月帰国。現在東京、埼玉にてドラム講師として後進の指導に当たる他、ライブ等、精力的に活動中。